平成２６年度　施策評価シート

作成日	平成 26 年 11 月 25 日

1 施策の概要

施策名（節の名称）	No. 43	平和思想の啓発			
部章節No.	第4部 第3章 第3節	評価担当部	総務部	関連部局	-
総合計画書掲載頁	158 頁	記載責任者	吉川進		
総合計画体系	まちづくりの目標【部】	豊かな人間性を育む文化のまちづくり			
	施策の分類【章】	人権の尊重と平等のまちづくり			
施策の目的（基本方針）	平和の尊さ、戦争の悲惨さを忘れることなく次代に引き継ぐため、平和思想の普及・啓発を進め、戦争のない平和な社会の実現をめざします。				

2 施策を取り巻く環境

施策の現状	戦後70年を迎え、戦争に対する認識が薄れる中、非核・平和宣言の自治体として、戦争の悲惨さと平和の尊さについて普及・啓発を図るための諸事業を実施している。【愛川平和の町宣言（平成７年）】 ≪主な取組事例≫ ●平和資料館親子見学会、平和パネル展
法令・制度の変更	
施策の課題	戦後70年を迎え、戦争に対する認識が薄れつつある。小学生5・6年生と保護者を対象とした平和資料館親子見学会については、平成２０年度の２３組４９名をピークとし、参加者が減少傾向にある。

3 施策の成果指標

（基本方針を達成するため本施策に求められる成果を定量的に表記します。）

	指標（単位）	総合計画策定時	中間値（26年度）	目標値28年度	達成度
住民満足度	『平和思想の啓発』について「満足」と感じる住民の割合	25.4 %	26.9 %	35.0 %	B

	指標（単位）	増減	総合計画策定時	23年度	24年度	25年度	目標値28年度	達成度
主な目標指標	平和資料館見学会への参加者数（人）	増	24	23	22	17	40	C
	平和パネル展来場者数（人）	増	195	183	199	191	215	A
								－

4 施策の活動指標

（「3 施策の成果指標」の目的を達成するため本施策において町が行う活動内容等を定量的に表記します。）

	指標（単位）	増減	総合計画策定時	23年度	24年度	25年度	目標値28年度	達成度
主な活動指標	平和資料館見学会開催回数（回）	増	1	1	1	1	1	A
	平和パネル展会開催回数（回）	減	1	1	1	1	1	A
								－

5 総合計画の進捗状況調査に基づく基本施策の評価

基本施策		評価結果	基本施策		評価結果
No.	名称		No.	名称	
1	平和思想の啓発	B			

6 総合評価

成果指標評価	B	活動指標評価	A	進捗状況調査結果	B

総合評価	B（自動判定） → 構成事務事業の見直しが必要な施策です。
	総合評価結果に対する分析（施策全体について、進捗状況、有効性・効率性の観点を踏まえて分析してください。）
	「住民満足度」については、総合計画策定時と比べ1.5ポイント増と改善傾向にある。「平和パネル展」の来場者数は増加傾向にあるものの、「平和資料館親子見学会」については、参加者が減少傾向にある。戦争から時間が経過していく中で若い世代の関心を充分集めることができない現状や、世界各国の多くの地域で紛争が起きていること等が背景にあると考えられる。

7 今後の方向性

方向性	□ 現状維持 ■ 一部見直し □ 大幅な見直し □ 新たな取組みや事業を追加 □ その他
改善案などの内　容	・平和行政事業は、町民が戦争や平和についての認識を深めていただくために意義あるものと考えていることから、今後もより多くの方が参加いただけるように工夫を凝らす必要がある。 ・「平和資料館親子見学会」については、引き続き見学会の周知・広報に努めるとともに、参加対象年齢の拡大などを検討する。

8 庁内行政評価委員会コメント

※主管部等では記入しないでください。

評価・方向性	所管部の方向性のとおり

９ 総合計画の進捗状況調査における取組の方向性の評価（事務事業の評価）

基本施策No.	取組の方向性			評価年度	評価結果
	No.	名称	主管課		
1	（1）	平和思想の普及・啓発	企画政策課	26年度	B